



第29回

六月祭

6/6
Sat.

六月祭が賑やかに開催されました。

前日の土砂降りから一転し、学生たちの願いが届いたのかまずまずの天候の中、六月祭が開催されました。野外ステージでは日頃の練習成果を披露しようと熱の込められた演技や演奏が行われる一方、リブレ内では写真展や華道展など野外とは異なる静けさの中、日本の伝統や日常で見落としがちなことに向けている学生たちの活動を知ることができました。模擬店では様々な部活動、研究会などが創意工夫を重ねて出店をしており、国籍問わず一体となって盛り上がる姿は大変頼もしく思えました。被災国、後進国を支援する活動をしている学生、他大学とクメール語の勉強会を開くなどしながらカンボジアに本を送る活動をしている学生、自分たちが作ったミサンガの売上金を自らの手で直接ネパールに届けるという学生もおり、他人や他国のことを対岸の火事と見ず、自分のことのように真剣に考え行動できる学生たちが誇らしくも輝いて見えました。このような経験を糧とし、ぜひ国際社会へと自信を持って積極的にはばたいてもらいたいものです。(広報部会 加藤 真子)



六月祭実行委員長 杉本 美鈴さん
(ブラジルポルトガル語学科3年次生)

たくさんの人の笑顔に出会えたイベントになりました!



毎年恒例となったお菓子まき



六月祭を彩る
吹奏楽団の生演奏!



華道部の展示で、リブレが華やかだ!



どの模擬店でも、協力しあっている楽しさあり...



新入生歓迎 スポーツ フェスティバル

5/1
Fri.

新入生と在学生在がスポーツを通して交流を深める『新入生歓迎スポーツフェスティバル』が開催されました。

新入生を迎えてちょうど1ヶ月の5月1日にスポーツフェスティバルが行なわれました。午前中は体育館で、ムカデ競争や、パン食い競争、午後からは、グラウンドでカップル競争や団体別リレー、1年次生もすっかりうち解けて、大盛り上がりでした。

最後には全員で豪華景品が当たる大抽選会!内容盛り沢山で楽しい一日でした。

(後援会書記 松村 敦子)



たくさんの1年次生が参加し、元気な姿を見せてくれました!



白熱した戦いが繰り広げられました。





目標高く活動しています!

京都外大には53団体のクラブがあり、サークル等を含めるとその数は70団体を超えています。今回はその中から、ハンドボール部と吹奏楽団を紹介します。

【ハンドボール部】

部長 山本 智大
英米語学科 3年次生

平素は私ども京都外国語大学ハンドボール部の活動にご支援いただき誠にありがとうございます。これからも絶え間ない努力を重ねていく所存であります。現在は火曜日と金曜日の2回、18:30~21:00の全体練習と土曜日の自主練習を含めて、週3回練習に励んでいます。現在部員は昨年時の18名と比べ増加し、30名となりました。現在では、女子ハンドボール部創部に向けて人員と用具の確保にも力を入れています。体育館一面を使って、短い時間だからこそ、各々高い意識を持って練習に取り組んでおります。

練習内容は、高校時代の経験者を中心にメニューを組み、部員間でその目的と効率性を共有し、全員で1つの練習を作り上げることを意識して練習に励んでいます。幸いなことに、練習にOBの方に来ていただき指導を受けて、秋に開かれる予定である関西学生ハンドボールリーグで5部昇格を目指しています。



【吹奏楽団】

団長 喜久田 樹
国際教養学科 3年次生

こんにちは!京都外国語大学吹奏楽団です。私たちは現在、4年次生8名、3年次生8名、2年次生7名、1年次生12名の、総勢35名で日々練習に励んでいます。今年は、1年次生が例年よりも多く入団してくれて、一段とにぎやかに練習することが出来ています。私たちは、学祭や式典などの学内イベントから、地域での依頼演奏、野球応援など、様々な場面で演奏させていただいております。そして今年の11月29日には、一年の集大成でもある、第27回定期演奏会も開催予定です。

これからは、京都外国語大学、そして吹奏楽団のことを、地域の方々により多く知っていただけるよう、誠心誠意頑張らせて参ります!今後とも当団へのご声援、よろしくお願いたします。

後援会では、
部活動を奨励金
でサポート!

キャリアセンターからのご案内

キャリアセンター長 着任のご挨拶

内外の金融機関、国際会議団体、大学教員を経て2015年4月より本学キャリアセンター長に着任いたしました。日頃はキャリアセンターへのご支援を賜り有難く厚く御礼申し上げます。京都外国語大学の学生の特徴として、誠実に勉学に取り組む姿勢があると思います。誠実に仕事をこなすことは、世界のどこへ行っても最も重要なスキルの一つです。あとは学生生活では教室や個人学習が中心になりがちなかでも、ぜひ将来の自分の姿を想像しながら能動的に勉学に励んでいただきたいと思います。卒業したら社会で自立しなければなりませんから、勉学においても課外活動においても、社会との接点を意識するよう促していただければと思います。

キャリアセンター長
中川 亮平



相談風景



企業説明会

2015年度 教育懇談会のご案内



大学と後援会の共催により、毎年秋に各地で教育懇談会を開催しています。今年度は「当世就活事情」というテーマで講演が行われる他、留学、進路、就職など学生生活に関わるさまざまな個別相談を実施しています。ふるってご参加ください。

(写真は2014年度 教育懇談会)

【今年度の開催予定】

- 東京会場 / 2015年9月27日(日)
東京ガーデンパレス
- 福岡会場 / 2015年9月27日(日)
福岡ガーデンパレス
- 本学会場 / 2015年11月1日(日)
本学1号館7階小ホール(R171)

2015年度の後援会「委員総会」が開催されました。

5/23
Sat.

今年度の委員総会が5月23日に1号館7階小ホールにて開催されました。総会の冒頭、箕内後援会長に続き大学からは久保田法人部長及び下村副学長のご挨拶がありました。その後2015年度の箕内会長以下の新役員、活動方針、予算などの議案について担当役員より報告、説明があり満場一致で出席者の承認をいただきました。総会の後は学生食堂リブレにおいて懇親会が開催され、大学関係者と委員が懇談の機会を持つこととなりました。なお今回で卒業により役員、幹事を退かれる皆様には後援会から感謝の気持ちを込めて花束を贈呈させていただきました。



● 後援会活動の紹介 ●

今年度も引き続き後援会長を務めさせていただきます箕内です。5月23日の委員総会においては2015年度の事業計画と予算の承認をいただきました。本年度も昨年度同様の後援会活動を実施していくつもりですが、保証人と大学関係者の皆様が協力し合って学生生活が充実するよう支えていきたいと思っております。今年度も役員一同後援会活動を盛り上げていきたいと思っておりますのでどうぞよろしくお願いいたします。

今年度の活動内容

1. 語学検定試験の年2回全額助成
2. 留学生と交流会への助成
3. 教育懇談会の共催
4. 課外活動への助成(外大祭・語劇祭・体育祭・各種団体助成)
5. 就職支援助成
6. 奨学金助成 など

後援会部会の内容

後援会には広報、運営及び会計の3つの部会が活動しています。広報部会は年間3回の後援会会報の編集、発行を行っています。運営部会は入学式、教育懇談会及び大学祭の出店等のお手伝いを行っています。また会計部会は会費の管理と予算の執行等を行っています。今年度も後援会活動へのご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

「広報部会」活動のご報告

広報部会の活動は7月、12月及び3月に保証人の皆様にお届けしている後援会会報「COMMIT」の編集、発行です。会報では六月祭や大学祭などの学生主体で実施される行事やクラブ・サークル活動の紹介、語学検定試験や留学関係情報、また保証人の皆様に参加いただく教育懇談会、後援会総会などについてお知らせさせていただいております。また皆様からの後援会費が様々な形で学生の支援に充てられていることをご理解いただくように努めています。会報の発行のために適時編集会議を開催していますが、皆様からの投稿やご意見などもお待ちしております。ぜひとも以下のアドレスまでお寄せください。

投稿はお気軽に右記まで。 kyotogaidai-commit@hotmail.co.jp

※いただいた原稿などは紙面の都合等により再度編集をお願いしたり、掲載できないこともありますのでご了承ください。



(広報部会 小関明)

後援会
では

語学検定試験受験料を
全額助成しています。

年2回、全額助成します!!

お子様の留学・就職等のキャリアアップに、ぜひご利用ください。

助成を受けるには、所定の手続きが必要となっておりますので、**申請方法、申請期間、支給方法**については、**掲示板または教務部分室窓口にて確認**してください。

※英米語学科1・2年次生については、学科が行うTOEIC IPテストに助成1回分を充当します。

助成の対象となる語学検定試験

■ 英語

- ① TOEIC ※領収証がない場合は 4,645円
- ② TOEFL iBT ※一律 27,600円
- ③ 実用英語技能検定
- ④ 国際連合公用語英語検定試験
- ⑤ IELTS
- スペイン語
- ⑥ スペイン語技能検定
- ⑦ DELE (スペイン文部省認定証)
- フランス語
- ⑧ 実用フランス語技能検定試験
- ⑨ TCF (フランス語学力テスト)
- ⑩ TEF (フランス語能力認定試験)
- ⑪ DELF/DALF (フランス国民教育省・フランス語資格試験)

■ ドイツ語

- ⑫ ドイツ語技能検定試験
- ⑬ ゲーテ・インスティトゥートのドイツ語検定試験
- ブラジル・ポルトガル語
- ⑭ 外国語としてのポルトガル語検定試験 (旧: 国際ポルトガル語検定試験)
- ⑮ ブラジル教育省外国人のためのポルトガル語検定試験
- 中国語
- ⑯ HSK (筆記・口頭)
- ⑰ 実用中国語技能検定試験
- 日本語
- ⑱ 日本語教育能力検定試験
- ⑲ 日本漢字能力検定
- イタリア語
- ⑳ 実用イタリア語検定

外大生なら
ゼッタイ
受けなきゃ損!



大学3年次生・短大1年次生を対象に就職試験を想定し、自己PR・コミュニケーションの強化をめざす「履歴書、エントリーシート、面接総合対策講座の支援」も行っています。

【問い合わせ先】教務部分室 TEL.(075)322-6764 場所/8号館1階

外国人留学生 給費奨学金 授与式

6/13
Sat.



2015年度の外国人留学生給費奨学金授与式が行われました。
本年度は応募者の中から、2名の学生が選考され、採用証書が授与されました。 (後援会長 眞内 正典)

外国人留学生の声

給費奨学生となった2名の留学生に、将来の夢や抱負などをインタビュー。その内容をご紹介します。

日本語学科 1年次生
高 明壽さん (出身国:韓国)



卒業前までに、日本語学科で日本語のレベルを日本人以上に身に着けるべく頑張っています。英語も日本語同様重要であると考え、今から学習を始めています。卒業予定の2019年は、ちょうど2020年東京オリンピック年の前年に当たるので、高い日本語・英語の能力を活かし、オリンピックで高揚する経済をバネに自分の活躍を思い描きながら通学しています。

〈プロフィール〉

ソウル特別市生まれのソウル育ちの高さんは、兵役2年もソウルで行った生粋のソウルっ子です。サッカー・野球観戦が趣味。韓国の専門大学を卒業後、看護師の仕事を経て、1年間大阪の日本語学校で日本語を学び、本学に入学しました。今はアコースティックサウンドクラブ アメ民に所属、バンドでギター・ボーカル担当として活躍中です。

日本語学科 2年次生
王 旭さん (出身国:中国)



来年、3年次生の秋学期には日本語教育ゼミに入り、卒業後は中国で日本語の先生になります。将来は、中国で一番有名な日本語学校を設立するつもりです。その学校は日本のアニメ・漫画を見て育った中国人の夢である、日本への留学と、永住を、叶えることでしよう。

〈プロフィール〉

王さんは西安育ち、西安は京都のような都市です。2012年10月本国の高校卒業、京都の日本語学校で1年半勉強して、本学に入学されました。Jポップ・英語の音楽を聴くのが大好きで、幼いころから琵琶を習い腕前はプロ並みだそうです。1年次は日本語学校とコンビニでアルバイトをして頑張っていました。2年次から学習量が増えたので、日本語学校だけのアルバイトになりました。

お二人とも、後援会からの奨学金支給には大変感謝しており、奨学金は日本語・英語等の学習に活かしておられます。後援会としては卒業後を視野にいれた支援が必要だと感じました。最後に長時間のインタビューにご協力いただいた高さん、王さんに感謝申し上げます。 (広報部会 宮川 博)

編集後記

こんにちは、後援会広報担当の岩本です。「COMMIT」をご覧下さいましてありがとうございます。この広報誌の編集を担当させて頂き今年で4年目の夏を迎え、おかげさまで編集後記への寄稿も今回で2回目となりました。私の息子が本学に入学したのが2012年のことですが、それ以降この2~3年間の社会情勢で劇的に変動したものの一つが為替レートでした。今年も早いもので半年が経過しましたが、上半期にはインバウンドマーケットと言った新しいビジネスモデルに伴う経済需要が目立っています。ここ数年の観光誘致促進や円安の効果もあり海外から観光やショッピングなどを目的として多くのお客様が来日され、国内需要の上昇にもプラスとなりありがたいことです。さて、私の息子に聞くところでは、本学の学生は、学校の雰囲気や周りの学生の影響もあり、海外留学には前向きに取り組んでいるとのこと。留学と言ってもその手段や在り方は様々なようです。

後援会は海外へ短期・長期の留学をさせた経験のある保証人も委員をしております。これから留学を検討される学生の保証人の方で、これだけは聞いておきたいということなどございましたらご連絡頂ければと存じます。お問い合わせはメール「kyotogaidai-commit@hotmail.co.jp」まで、何かのお役にたてればと思います。また、この7月にアメリカ・テキサス大学から本学に短期留学する二人の学生がわが家にショートステイを予定しています。語学は日常的に会話していないと一定のレベルを維持できないとよく聞きます。今回、私の息子が彼らとどの程度ネイティブに対応できるのか現場検証できるいい機会と捉えています。次号では彼等から聞いたことなどもご報告できればと思っています。

(広報部会 岩本 康史)

みなさんの投稿
お待ちしております!

kyotogaidai-commit@hotmail.co.jp

スペースの都合上、掲載できない場合もございます。あらかじめご了承ください。

『お子さんの留学』に関する体験談をお聞かせいただきたく、同封のアンケートへのご協力を
お願い致します。